

平成24年度予算でこれを実現

北九州の発展へ予算獲得！

北九州港整備に31.7億円、関門航路整備に91.8億円

去る4月5日に平成24年度予算が成立しました。私きいたかしは北九州市発展につながる国の予算獲得に全力を挙げ、以下の予算を獲得しました。迅速に執行し、北九州の発展を日本の発展へとつなげていきます。インフラ整備関係では、北九州港整備に31.7億円、関門航路整備に91.8億円を確

保、新門司地区、田野浦地区のターミナル整備、新若戸道路整備予算は要求満額を勝ち取りました。アジアの玄関口としての港湾振興と安全確保に全力を尽くします。その他、国道3号線黒崎バイパス整備に7.2億円獲得などものづくりと物流の拠点としてのわが北九州の発展に頑張ります。

郵政改革へ全力

ついに国会審議にたどついた郵政改革見直し。自見大臣への激励、前原政調会

長など政府与党幹部への働きかけなど、これまでも郵政改革見直しに向けて私は力を注いできました。小規模局への配慮等、課題解決に気を引き締めて臨みます。

少人数での国政報告会
国政に一言言いたい、聞きたい方、ご一報ください。日程調整の上、代議士本人が伺います。

ポスター掲示
自宅、会社、ビル、駐車場などポスター掲示のご協力をお願いします。
詳しくは、
きいたかし後援会事務所
(093-941-7767)まで。

ワンコイン維新くらぶで きいたかしの育てよう！

今後、政治活動にかかわる資金は個人献金中心に切り替えていくべきです。政治を国民の手に取り戻す新しい政治参加の「北九州スタイル」として取り組み、全国に発信しています。政治家きいたかし個人の活動を支えるため、個人個人がワンコイン 500円を毎月会費として納めていただき、特定のどこからも、誰からも、しがらみなく自由な政治活動ができることを目指します。

詳しくは、きいたかし後援会事務所(093-941-7767)まで。

衆議院議員 きいたかし(城井 崇) 38歳のプロフィール

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高。北九州予備校(2浪)、京都大学。松下政経塾、前原誠司氏(前外務大臣)秘書等を経て、衆院選に初挑戦。比例九州にて初当選。05年衆院選で60,662票をいただくも惜敗。4年間の政治浪人後、09年衆院選に再挑戦、123,312票をいただく、小選挙区当選で国政復帰。現在、野田内閣において文部科学大臣政務官を務める。衆院予算委理事、衆院文部科学委員、衆院青少年特委理事等を歴任。他に、民主党カネミ油症対策議員連盟幹事長、民主党港湾振興議連事務局長など。好きな食べ物：ラーメン 気になること：中学校武道(特に柔道)の安全確保



きいたかし後援会事務所

●北九州事務所
〒802-0072 北九州市小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535

●東京事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館808号室
TEL.03-3508-7138 FAX.03-3508-3438

▼きいたかしのブログをご覧ください

きいたかしブログ 検索
きいたかしのブログはホームページからも入れます
●ホームページ http://www.kiitaka.net/
●メール smile@kiitaka.net



きいたかしの携帯ブログです



衆議院議員

このチラシを配って下さる方を募集中!

きいたかし

城井 崇レポート2012.2-4

社会保障と税の一体改革

政治・行政が身を削り、安定した医療・介護・年金・子育て支援を

皆様こんにちは。衆議院議員のきいたかしです。皆様のご支援のおかげ様で文部科学大臣政務官を拝命して約半年余り、日々全力で務めさせていただいています。今回は、与野党を超えてやり遂げるべき社会保障と税の一体改革について書きます。

(消費税増税は約2年後、総選挙後の判断) 財政健全化も同時に進め、将来世代に借金を負わせないようにすべきです。年金額の物価スライド特例も段階的に解消し、世代間の公平を図るべきです。

なぜ一体改革が必要なのか。
少子化、世界一の高齢化、貧困格差、孤立化、世界一の借金、年金を支える税収不足など社会保障の充実を急がねばならない状況があります。また、改革をできねば海外市場から見放され、日本国債の信用が落ち、我が国財政がひどい状況になります。

増税前にやるべきことがある。
かりに増税するにしても、もちろん優先順位があります。まず政治家が身を削ること。国会議員定数削減は1票の較差解消と共にやるべきです。国家公務員給与削減は実現しました。地方公務員については今後地方自治体で議論されます。税金のムダづかい見直し・予算の組み替えもこれまで10年度には9.9兆円、11年度には6.9兆円の財源をねん出しましたが、引き続き特別会計改革・天下り規制などしっかりやります。復興と原発対応を最優先しつつ、景気対策も中小企業を中心に頑張ります。

何をするのか。
社会保障を守り、充実します。具体的に、子どもには、幼保一体化など子ども・子育て支援、経済的支援、産休中の年金保険料の負担軽減など。成年には、非正規労働者の社会保険加入拡大、求職者支援、医療・福祉分野での雇用拡大など。高齢者には、年金の改善と安定化、希望者への自宅での医療介護など。

生活に寄り添い、未来を支える。
増税議論など好き好んでやりたい人などいません。しかし、ここで改革をしなければ、今の生活すら壊れてしまうのです。私自身、現実生活を何とか守りながら、将来の安心作りに今から必要な手立てを打つという思いからこの一体改革の実行を支持しています。皆さんからも現実的なご意見を多く伺いながら、将来のために今やるべきことを一政治家としてやりぬく覚悟です。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

財源はどうするのか。
負担をあらゆる世代で分かち合い、将来世代に先送りにしないことが重要です。消費税を含む税制抜本改革によって社会保障の安定財源を何としても確保し、幅広く皆で支えあうしくみを実現したいと考えます。

安全性の確認を第一に 受け入れ支援します。

去る3月12日に北九州市議会が市に対して東日本大震災の災害廃棄物について条件付きの受け入れ要請を行う決議を全会一致で可決しました。

今回は、この災害廃棄物、いわゆる災害がれきの北九州市への受け入れについての私きいたかしの考えを書きたいと思います。

今年の新春の集いで国政報告の中で、復興加速のため、がれき処理の全国共有化をすべきだと私は申し上げました。災害がれきの北九州市への受け入れについて私は受け入れるべきとの方向で北九州市を支援しています。

ただし、これに取り組む際、以下の点に留意すべきと考えています。

- ・災害がれきは被災地の方々にとっては震災前までのまさに生活の一部であったことを我々が心に刻むこと。
- ・宮城県や岩手県の津波被災がれきが広域処理のお願い対象であることを丁寧に伝えること。（放射性がれきは国で処理の方針）
- ・北九州市議会で全会一致で災害廃棄物の受け入れを市に要請する決議がされたことは極めて重い。その際に一般廃棄物相当といった市独自の条件をつけていることを徹底して具体化・実行すること。
- ・北九州市は公害で長らく苦しんできた経



細野環境大臣と面談するきいたかし

緯があり放射線量など安全性の確認・確保が必須であること。周辺住民の安心確保のため、憶測などに振り回されない、データなどをと丁寧な検証と説明が不可欠。放射線量測定などは行政のみならず市民側も直接計測確認できるように当然すべき。

・地元でも北九州青年会議所や連合北九州など受け入れ要請を後押しする動きが広がっているが、一部に懸念の声があること。安全性の確認確保への心配に加え、九州にわざわざなせもってこなくてはいけないが、被災地での処理の方が雇用につながるのでは、といった意見に対し、それでも処理の迅速化が復興の加速につながるのだという点を含め丁寧な説明を尽くしてほしいこと。

これらの点は、細野環境大臣にも直接申し上げました。以上を踏まえ、慎重な検討をしっかりと行いながら受け入れ検討の支援、特に北九州市と国との連携支援を今後も行っていきたいと思えます。

未来への種まきに日々全力

文部科学大臣政務官を拝命してから半年余り、様々な重要課題に取り組んでいます。ここでは、それらの一端をご紹介します。

まず、教育では大学改革を主導しています。大学全入時代に入り大学の役割が問われる中、主体的に学ぶ学生とそれを支える大学を作るしくみをスピード感と実行力で取り組みます。（大学の秋入学検討にも加わる）また、形骸化が言われて久しい教育委員会改革を先導すべく、地域の声を教育現場に生かす新たなしくみ作り着手しています。

不登校やいじめ、子どもの貧困解決にも真正面から挑戦中。高校や大学の奨学金の拡充、家庭教育支援、訪問型取り組みによる個別対応の充実に奔走しています。

その他、若者の雇用対策、東京オリンピック招致、中学の武道の必修化（特に柔道）での安全確保、留学促進・大学の国際化などグローバル人材育成の推進、日本相撲協会の指導、大学入試センター試験のトラブル検証、大学研究費の不正追及、SPEEDIなど文科省の震災対応の中間検証、九州・山口の産業遺産群の世界遺産登録支援、文科省内の随意契約・一者応札のチェックなどムダ見直し、教員の養成・採用・研修の抜本改革、専門学校・各種学校支援、インクルーシブを含む特別支援教育支援、JOCの助成金不正追及など日々の取り組みは枚挙にいとまがありません。

今後も国民の皆さんの声と目線を大事に、未来への種まきに日々全力を挙げます。

写真で見ると
活動報告（1～3月）



門司と小倉で新春の集いを開催。多くの皆様のご参加に心から感謝！



参議院厚生労働委員会で答弁。



仲間の地方議員と街頭宣伝活動



参議院厚生労働委員会で答弁。

仲間と実現を目指すきいたかし 一つの目標 政務官として実行中！
 世界が振り返る教育・技術立国へ！ 税金を大切に使う日本に！ 北九州の元気を日本の元気に！